

令和7年度（論理・表現Ⅱ） シラバス

教 科	外国語	科 目	論理・表現Ⅱ		
単 位 数	2	学 年	3	類 型	文系
教 科 書	FACTBOOK（桐原書店） English Logic and ExpressionⅡ				
学習目標	「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図るために必要な発信能力を育成するとともに、論理の構成や展開を考察することで、情報や考えなどを論理的に工夫しながら伝える能力を養う。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	Unit 1 健康 Unit 2 貧困・飢餓 Unit 3 都市化の問題 Unit 4 持続可能な都市 Thinking Logically 2 Unit 5 環境保護と文化	・健康問題や飢餓を解決する方法、都市化が及ぼす影響について長めの意見を述べたり、議論することができるようにする。 ・砂糖導入についての意見文や飢餓支援を紹介する行内新聞、自治体への要望書を書くことができるようにする。 ・問題解決型の文章のキーワードを整理し、言い換えをしながら要約文を書くことができるようにする。
2 学期	Unit 6 プラスチックごみ問題 Thinking Logically 3 Unit 7 NGO 活動と共生 Unit 8 ジェンダー平等 Thinking Logically 4	・聞いた情報をもとに説明したり、情報を共有しながら議論することができるようにする。 ・ごみ削減企画を提案するメールや海外大学への志望理由書を書くことができるようにする。 ・対比型の文章のキーワードを整理し、言い換えをしながら要約文を書くことができるようにする。
3 学期	Unit 9 地産地消 Unit10 シェアリングエコノミー Thinking Logically 5	・地産地消の利点について長めの意見文を書くことができるようにする。 ・事例をもとに議論することができるようにする。

評価の観点及び内容、評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解するとともに、外国語の技能（話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションで活用できる知識・技能を身に付けている。	・定期考査 ・確認テスト ・リスニング課題
思考・判断・表現	日常的や社会的な話題について、外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現する力を身に付けている。	・定期考査 ・パフォーマンステストの内容 ・課題の記述内容
主体的に学習に取り組む態度	聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	・授業に取り組む態度 ・課題やパフォーマンステストへの取り組み方 ・自己評価

